

平成17年度子ども読書活動交流集会の開催結果について

今年度も「子ども読書活動交流集会」を開催しました！

11月26日(土)に、嵐山町の国立女性教育会館で「平成17年度子ども読書活動交流集会」を開催しました。朝から好天に恵まれ、263名の参加を頂戴しました。

午前の基調講演は、竹内^{さとし}氏(図書館情報大学名誉教授)をお迎えし、「子どもの読書活動について思うこと」と題してお話いただきました。まず、子どもの読書の豊かさのために大人としてできることについての考えを述べられ、おはなしや読み聞かせにかかわる人の仕事は世代を超えてためになること、直接は役に立たないと思えることが、その人を支えることがあると、読書の大切さについて、深いところへ懇切丁寧に案内して下さる内容でした。

午後は3つの分科会に分かれて行いました。第1分

科会は「子どもの心にとどける読み聞かせ」というテーマで参加者の絵本の読み聞かせの実践を交えた講義でした。第2分科会は「地域で子どもと読書を楽しむ・進める」というテーマで、北本市子ども文庫連絡会からの事例報告と事前アンケートの集計速報の報告をもとに情報交換と協議が行われました。第3分科会は「学校でこんなこともできる・している」というテーマで、鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校と市立図書館との読書指導の取り組みと、久喜市太田小学校図書ボランティアの活動についての二つの事例報告に続いて、質疑と協議が活発に行われました。

18年度の開催についても、これまでの成果をふまえて、さらに稔りのある集会の場がもてますよう事務局では努力してまいります。

” 広げよう読み聞かせ・ストーリーテリングの輪 ”

おはなしボランティア指導者養成講座について

近年、小学校や幼稚園等でボランティアの方が絵本の読み聞かせやストーリーテリングを実施する機会が増えてきました。けれども子どもの本に関する研修の機会が充分とはいえず、活動をする上での悩みを多く聞くようになりました。

そこで、子どもの読書に関するボランティア活動を長年、実践してきた方々のお力をかりることはできないだろうか？ 絵本の読み聞かせやストーリーテリングを学びたい人やこれから活動をはじめたいと考えている人にアドバイスする指導者として活躍してはいただけないだろうか？ …と、考えたのがこの「おはなしボランティア指導者養成講座」です。

ちょっと腰がひけそうな「指導者」という言葉でしたが、ふたを開けてみると、北は深谷、両神から東は越谷まで、予想もしない数の応募がありました。

講師陣の熱く、また中味の濃い講義で基本を確認するとともに、各地で活動されている多彩な受講生の交流のきっかけにもなったと思います。

お陰様で、この講座は多方面からの関心が寄せられ、テレビ取材があったり、埼玉県教育委員長上條さなえ氏から激励の講話をいただいたりしました。

さて今年度は、「広げよう読み聞かせ・ストーリーテリングの輪」を実現する年です。

子ども読書支援センターでは、講座修了生22名を、研修を希望する県内各地のボランティア団体に、アドバイザーとして紹介する事業を計画中です。修了生たちの活躍が期待されます。

詳しくは、来年度の県立図書館ホームページ内の「子ども読書支援サービス」のページに注目！



Shien 創刊号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったやさやかな情報誌です。

平成18年3月15日 発行

《目次》

- はじめに
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体紹介 …… 1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座 …… 2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から …… 2
- ブックリスト担当から …… 3
- インターネットからの情報収集担当から …… 3
- 平成17年度子ども読書活動交流集会の開催結果について …… 4
- おはなしボランティア指導者養成講座について …… 4

はじめに

平成17年4月、埼玉県立久喜図書館内に子ども読書支援センターが開設されてから、1年が経ちます。センターでは、子ども読書に関わる県内の個人・団体への支援を目的に、いろいろな取り組みをして参りました。日常業務としては、支援センター窓口における調査相談への対応、またそれをふまえた、センター側からの情報発信。事業としては、子ども読書交流集会やおはなしボランティア指導者養成講座、いずれもボランティアのみなさんや関係機関・団体の協力を得て、実施することができました。

それらの取り組みの成果あるいは、今後の展開について報告させていただくとともに、特色ある活動をしている県内の子ども読書関係団体や、読み聞かせ等の実践テクニックの紹介を通して、子ども読書に関わるみなさんの情報源としてご活用いただけるよう、本誌を刊行することになりました。

久喜図書館子ども読書支援ボランティアの協力を得ながら、定期的に発行してまいりたいと思います。ホームページともどもよろしくお願いいたします。



浦和子どもの本連絡会

「浦和子どもの本連絡会」は、1982年旧浦和市にある10の子ども文庫と、子どもの本が好きな人達が集まって「子どもに豊かな本の世界を手渡す」ことを目標にして発足しました。現在は9つの子ども文庫を含む16団体と、個人76名の会員が参加しています。

活動内容は以下のとおりです。

- 1 月1回の例会と会報の発行
例会は北浦和公民館で開かれ、会員の活動内容の発表や情報交換、絵本や本の紹介、工作の講習会などを行います。また、例会の内容や各種講座の紹介などを伝える会報を年10回発行し、全会員に配布しています。
- 2 会員の自己研鑽のための勉強会、講座などの開催
毎月1回のおはなし勉強会を県立浦和図書館で行っています。また年1回、わらべうたの講座も開催しています。
- 3 小学校、幼稚園でのおはなし会
現在小学校5校、幼稚園1園で昔話を語ったり、

子ども読書支援関係ボランティア団体紹介

絵本を読んだり、ブックトークをしています。他にも、会員が個人や団体の活動としておはなし会や読み聞かせをしています。

- 4 東浦和図書館主催の「おはなしフェスタ」への参加
フェスタで会員がおはなしを語ります。
- 5 子ども読書活動交流集会への参加協力
平成16年から開催されている交流集会の実行委員として、準備会から参加しています。

以上のような活動を連絡会では行っていますが、他にも、会員は公民館まつりへの参加、図書館の行事への参加、協力、学童クラブでのおはなし会など様々な活動をしています。連絡会では、会員相互が活動についてアドバイスあったり、紙芝居やペープサートなどの作品の貸し借り、工作材料の共同購入もしています。新しく活動を始めたい人の入会も年間数人あります。興味のある方はどなたでも参加してみてください。

平田潤子
(浦和子どもの本連絡会)

お問い合わせは、子ども読書支援センターまでお願いします



編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5 fax 0480(21)2791 ☎ 0480(21)2659(代)

おはなし・読み聞かせ実践講座

このコーナーでは、おはなし会を行う上でのワン・ポイント・アドバイスをリレーでお届けします。4ページでご紹介する「おはなしボランティア指導者」の皆さんからのホットな情報です。

私は小さい頃から本に親しむという子どもではありませんでした。それでもおはなしを聞くことは好きで、幼稚園のおはなしの時間、中でもペープサートを楽しみにしていました。

平成10年に、ある図書館のおはなしボランティアの講座を受けたのですが、その際、ふとその頃のことを思い出したのです。不思議なことに、大好きだったペープサートのおはなしより、何も持たずに静かに語る園長先生の素ばなしの方のあらずじを覚えていたのです。

先生から届けられたのは、おはなしの言葉だけでしたが、私は確かに心の中で絵を見ていたのです。

このことは当時30年以上も前のことでしたが素ばなしの力を思い知らされた瞬間でした。小学生になっても私は図書の時間が苦手で、なるべく絵が多く、字の少ない本を選び、いつも傍には「ちいさいおうち」「ひとまねこざる」「ちびくろさんぼ」がいてくれました。

その後少しずつでも本を読めたのは「目の前の本には何が書いてあるのだろう、次の行・ページからは何が出てくるのだろう、それが知りたい」という気持ちで「字を読む」という作業に勝った時だったと思います。

今おはなしを語る時、子どもと本をつなぐ架け橋になればと願う時、これらの体験はいつも私を支えてくれます。

最近は絵本ブームで読み聞かせも増えてきましたが、あるおはなし会に行った時のことです。いわゆる演技力もあり、とても面白かったのですが、聞き手は本ではなく読み手の方を見てしまうのです。

可愛い子どもたちを目の前にすると、つい楽しませてあげたいと頑張ってしまうがちですが、うけを狙ったり、誇張したりせず、あの園長先生のようにおはなしそのものの力を信じて、それをそのまま届けるという初心を忘れずにいたいと思っています。

河辺知子(おはなしボランティア指導者養成講座受講生・浦和子どもの本連絡会会員)



きりぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

5名が、常時活動にあっています。心の中核には彩の国の子ども支援にふさわしい意識と感性を熱く持ち続けながら、「どこかで誰かのお役に立てたら」の思いが自分の生きる支えに繋がる事を願ってスタートしました。

クリッピングの内容は、

新聞について

久喜図書館で収集されている新聞

- (1) 全国から... 児童作家、児童図書に関するもの
公共図書館・学校図書館等での児童サービスに関するもの
子ども読書振興に関するもの その他
- (2) 埼玉から... 県内での児童書刊行情報
上記全国記事の ~ に該当するもので埼玉版掲載記事

雑誌について

対象誌は 『子どもと読書』(親子読書地域文庫全国連絡会)、 『こどもとよかん』(東京子ども図書館)、 『こどもの図書館』(児童図書館研究会)、 『こどもの本』(日本児童図書出版協会)、 『子どもの本棚』(日本子どもの本研究会)、 『JBY会報』等

- (1) 公共図書館、学校図書館等での児童サービスに関するもの
- (2) 子どもの読書振興に関するもの

これらの記事をコピー・ファイルし、平行して電子情報として蓄積するという作業をしています。

また、活用を企図したテーマの編成と発信方法について、検討中です。

渡辺(子ども読書支援ボランティア)



はじめまして 子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



使えるブックリスト

ブックリスト担当から



ブックリストグループでは、現在2つの作業を平行して進めています。

1つめは、累積版作成。定期的に出されている「埼玉県推奨図書」や「埼玉・夏休み/冬休みすいせん図書」などのデータを入力して、それぞれのリストを作成していきます。

2つめは、オリジナルのブックリストの作成。こちらは、読書支援センターに寄せられた声に、ブックリストという形で応えていこうというものです。

まずは、最も問い合わせの多かった読み聞かせのブックリストを作成しました。読み聞かせを始めただけ

の人が、小学校の教室で、朝読書の時間(15分)に読むことを条件に、低・中・高学年別・季節毎に10冊ほどに絞りました。15分のプログラム例もあります。3月には、「春」のリストを発信します。出来上がったリストは、みなさんのご意見を参考にして変更・修正していきます。ぜひ、ご意見をお寄せください。

また、今後は「本嫌いな小5の男の子が最後まで読める本を教えてください」というような問い合わせにもブックリストで細やかに応えていきたいと思っています。リクエスト&情報をお待ちしています。

杉原(子ども読書支援ボランティア)

春のプログラム例

低 学 年	中 学 年	高 学 年
『あいさつ』(『のはらうた』より) 『春』(五味太郎 絵本館) 『はじめは「や!」』	『しょうたなっとう』 『これはのみのピコ』	『夕日がせなかをおしてくる』から、詩を1つ。 『3びきのかわいいオオカミ』

知っ得情報!

インターネットからの情報収集担当から

活動の中でメンバーがこれは!と思ったものをご紹介します。

・草加市立中央図書館

(トップページのみアクセスしかできないため埼玉県立図書館ホームページの「お役立ち情報」での紹介を見送りましたが、幼児・児童のためのページが充実。ヤングアダルトコーナーがあるのも注目です。)

<http://www.lib.city.soka.saitama.jp/>

・富士見市立図書館

(児童サービスのページが充実。トップページ下方に入口があります。少しスクロールすると出てきます。)

<http://www.lib.fujimi.saitama.jp/>

・子供の読書のホームページ

(驚きの情報量! 川崎市立小学校教師 渡部康夫さんのホームページ)

<http://www015.upp.so-net.ne.jp/kodomodokusho/WELCOME.HTM>

インターネットからの情報収集グループでは、現在、子どもの読書に関するホームページから「イベント」「関連記事」「ブックリスト」の情報を収集中です。作業を始めてみて、多くの情報の中から紹介する情報を「選択する」ということの難しさを感じています。例えば「イベント」の開催地はどの地域までのものを紹介すればよいか? どうすれば情報の「鮮度」を保てるか? 等、課題は尽きません。今後も、よりお役に立つものを目指して行きますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

大澤(子ども読書支援ボランティア)